

令和2年度 岡山県立岡山御津高等学校 第1回学校運営協議会

- 日時 令和2年7月16日(木) 14:00~16:05
- 場所 岡山県立岡山御津高等学校 特別教室棟2階 多目的教室

1 開会・趣旨説明(校長)

2 委員紹介

3 学校運営協議会及びコミュニティー・スクールについて

4 規則、要綱の確認

5 会長・副会長選出

大森委員(岡山市立金川病院院長)が会長、立花委員(岡山市立御津公民館長)が副会長に選任される。

6 協議

(1) 本年度の学校経営計画および新学科開設について

学校側(神田校長)が説明を行った。

協議会委員よりご意見をいただく。

- 成功体験とか高校で全てのスキルを賄うというのではなく、卒業して就職する子たちに将来を見越して自分の力をつける、力を発揮できるようにする。また、そのためにはどのように動機づけをするかが重要である。

(2) テーマ別グループ協議

4班に分かれて、テーマ別協議

ア 地域での活動について(2班)

イ 育てたい資質・能力について(2班)

(3) 全体共有

グループ発表

ア 地域での活動について

- ・ 地域での活動について現在もボランティア活動や防災訓練など地域で活動に参加しているが、ホストとして自分たちで活動を作る、また共催して活動を展開していくようにする。

特定の生徒がするのでなく多くの生徒で活動する。

実現できるものからやっていく。

- ・ 「御津高御用聞き」

地域へ参画するために自分たちで御用を探してきて、持ち帰り、全員で（御用が少なくても）シェアし、解決策を考える。公共交通機関や自転車で行ける範囲、例えば農家や企業に御用を聞きに行く。これが自己肯定感、成功体験につながる。

- イ 育てたい資質・能力について

- ・ 地域に参加し主体的に企画提案する力

参画という点では地元との交流、制作する力、社会貢献活動の意義づけ、基礎基本的な学力をつけることにより、外に出る、提案する、地域と関わっていく力を身につける。

学力という土台があって色々なことに発展していくので土台固めをしっかりしていく。

- ・ 自己有用感、自己肯定感が育てるため、ほめることが大事。

ほめられる行動（ボランティアや駅前花壇等）が周知されていない。老人お助け窓口、困っている人はたくさんおられるはずなので、地域のお年寄りに貢献することも大切。ニーズを探しに出て拾ってくる。Win-winになる。

生徒が自信を持ってやっていくために、HPでの発信の仕方、インスタで発信いいね！をお互いに集めあう等工夫が必要。

学力より人間力が大事である。

《ご意見》

- ・ 基本的な会話は必要だが、学力は強く求めている。自分の所在を広げるために学力は必要である。
- ・ 学校の勉強は「しなさい」で身につけていく。海外の学校ではさぼれば卒業できない。自分の主体性に任される、自分のやりたいことが見つかるはずと勉強する。何に興味があって、何をしたいかということが意欲や動機づけになる。
- ・ 学校の活動をユーチューブ等で発信。息子・娘が見て、SOSを依頼してくるかも。SNS、ICTを活用

7 事務連絡

(1) 今後の予定について

第2回学校運営協議会は10月下旬の予定
中間報告、意見交換を行う予定

8 閉会

第1回 学校運営協議会

令和2年7月16日 開催

御津高校の生徒と一緒に地域でこんなことができる！

農業の後継者を育てる！

高齢化・過疎化で人材不足
田植えの準備



御用聞き！

「ほしい」を探しに!!

- ★地域のニーズを生徒が聴く
- ★御津を知る
- ★接点をつくる

地域の企業・農家等を訪問して、
持ち帰ったものを広げ、つなげる！



防災

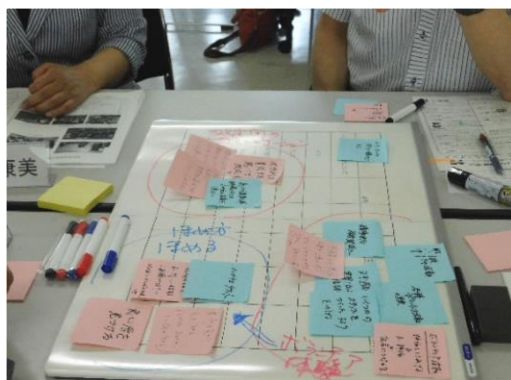
高齢者の聞き取り 冊子作り
みつ防災マップ



こんな力を育てたい

参画する力

建部医療福祉専門学校・地域デイサービス・葵の園
専門学校生との交流 & 傾聴ボランティア



来年度の新学科に向けて神田校長より詳細な説明
がありました。

「キャリアデザイン科」で自分の人生の設計図を
岡山御津高校で描いてもらうために、地域の方々と
一緒に生徒を育てていただきたい！という思いです。

